

2001「植村直己冒険賞」受賞者

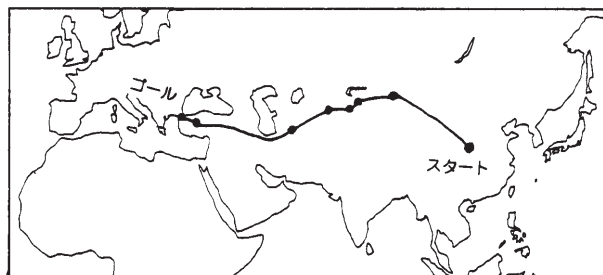


中山嘉太郎
山梨県笛吹市在住

中央アジア・シルクロードを駆け抜ける

趣旨

今まで自転車や徒歩で一部のシルクロードを旅した人はいるだろうけれども、中央アジアシルクロードを走って旅した人は初めてだろう。シルクロードをテントも持たずに野宿や地元の人の家、警察署などの人たちにお世話になりながら走って旅を続けた。2000年5月に会社を退職し、6月に西安を出発。ウルムチまでの2675キロを53日間で走り切り、一旦旅を打ち切った。その後、南米のパンパ平原、アタカマ砂漠、アンデス高地を走ったが、2001年6月に再びウルムチへ。6月25日から中国西域を走り、12月23日にシルクロードの終着駅であるイスタンブールに到着した。



中山さんが駆け抜けた道



夕日に染まるウズベキスタンの荒野で



シューズを手直し中

冒険内容

2000年5月に会社を辞め、6月に中国に渡り、西安から中国シルクロードの走り旅に出発。その際、シルクロードを走破するという自分への決意表明の位置付けとして山梨の自宅から成田空港まで走った。旅先では、テントも持たずに野宿や安宿に泊まり、また地元の人たちにお世話になりながら旅を続けた。時として何リットルもの水を担ぎシルクロードを駆け抜け、7月にウルムチに到着。走った距離は2675キロで53日かかった。ここで一応の満足感を得て一旦帰国、その後、南米のパンパ平原、アタカマ砂漠、アンデス高地を99日かけて4767キロを走った。南米で高地や砂漠という厳しい条件下でも走れることを体感し、2001年の6月に再びウルムチに戻る。6月25日にウルムチから中国西域を走り、カザフスタン、キルギス、ウズベキスタンからトルクメニスタンと中央アジアシルクロードの走り旅へ。怪しい生水を飲み下痢に襲われたり、時には警察に引っ張られたりもしたが、親切な人たちに恵まれ、地元の人の家や食堂、ガソリンスタンド、そして警察署に泊めてもらいながら走った。イラン入国前にニューヨークテロ事件が起こったが、アシュガバットから無事イラン入国を果たしイラン、トルコのシルクロードへ入った。イランでは数々の障害を克服し、11月1日に冬間近のトルコへ入国する。トルコの後半では雪と寒さの戦いだったが、12月23日にシルクロードの終着駅であるイスタンブールに到着。今回、駆け抜けた距離は6699キロ、152日間、西安から通算9374キロ、総実数205日。



トルクメニスタンの砂漠で道路工事人の飯場で



紅葉の中走る

2001 冒険情報一覧表

	山	縦横断	海	極地	空	川	その他	計
個人活動	42	62	19	2	0	0	1	126
団体活動	57	12	5	0	0	2	0	76
合計	99	74	24	2	0	2	1	202